

# 卷町公民館設置條例

第一條 社會教育法(以下「法」と言ふ)第三二條の規定に依りこの町に公民館を設置する

第二條 前條により設置する公民館は卷町公民館と言ふ(以下公民館と言ふ)當分の間卷町役場會議場に置く、但し必要に應じ分館を置くことが出来る

第三條 公民館は町長が管理する

第四條 公民館には左の職員を置き町長かこれを任免する

第五條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

第六條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

第七條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

第八條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

第九條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

第十條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

第十一條 公民館職員は左の職員を置き町長かこれを任免する

三十名以内としその任期は二ヶ年とする

公民館運営審議會がその職務を行ふ爲に必要な費用辨償は卷町費用辨償額及びその支給方法に關する條例を準用する

第七條 公民館運営のため特別會計を設けることが出来る

第八條 この條例施行に必要な細則は町長が別にこれを定める

附則 この條例は公布の日から施行する、從來の卷町公民館設置條例はこれを廢止する。

## 社會教育法

### 第四章 公民館

第二十條 公民館は、市町村その他一定區域内の住民のために、實際生活に即する教育、

學術及び文化に關する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を圖り、生活文化の振興、社會福祉の増進に寄與する事を目的とする

第二十一條 公民館は、市町村が設置する

第二十二條 公民館は、第二十二條の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但しこの法律及び他の法令により禁じられたものは、この限りでない

一、定期講座を開設すること

二、討論會、講習會、講演會、實習會、展示會等を開催すること

三、圖書、記録、模型、資料等を備え、其の利用を圖ること

四、体育、レクリエーション等に關する集會を開催すること

五、各種の團體、機關等の連絡を圖ること

六、その施設を住民の集會その他の公共的利用に供すること

第二十三條 公民館は、次の行為を行つてはならない

一、もつばら營利を目的として事業を行い、特定の營利事業に公民館の名稱を利用させ、その他營利事業

を援助すること

二、特定の政党の利害に關する事業を行い、又は公私の選舉に關し、特定の候補者を支持すること

第二十七條 公民館に館長を置き、その他必要な職員を置くことができる

第二十八條 市町村の設置せる公民館の館長その他必要な職員は教育長の推薦により当該市町村の教育委員が任命する

第二十九條 公民館に公民館運営審議會を置く

第三十條 市町村の設置する公民館にあつては公民館運営審議會の委員は左の各号に掲げる者のうちから市町村の教育委員が委嘱する

一、当該市町村の區域内に設置された各学校の長

二、当該市町村の區域内に事務所を有する教育、學術、文化、産業、労働、社會事業等に關する團體機關

第三、學識經驗者

第三十四條 公民館を設置する市町村にあつては公民館の維持運営の爲に特別會計を設けることが出来る

第三十五條 國庫は、公民館を設置する市町村に対し豫算の定めるところに従い、その運営に要する経費の補助その他必要な援助を行う

スポーツだより

バスケットシーズン

を迎えて

みりの秋も豊かに過ぎて灯火親しき候となればスポーツは自然屋内に傾きウインタースポーツの全盛時代は訪れた

尚本クラブは創立第四週年を迎へ昭和二十五年こそは「我等の生涯の最良の年」と致すべく日夜奮闘を続けて居ります

クラスタ対抗籠球大会

十一月二十三日 小学校十二チームの参加を得て延長戦二試合の熱戦を展開、優勝は若冠二十才の新風チームに輝いた一回戦

- BK 19 明球 19 明球 19 明球
新風 17 27 19 QP 19
白楊 27 30 13 明強 29
新風 20 33 30 新制中学
笠雪 28 36 4 新星 B 17

第十一回

町民運動會を

顧りみて

今年の町民運動會は三つの例年と異つた処があつた、その内の一つは四月に漆山村から離れた赤サビが巻と合併して赤サビ区となり十四の区が町民運動會に出場したことである

赤サビの意氣凌々堂々隊互を組みみプラスバンドを先頭に會場に向ふ姿は壯觀であつたが力闘にも拘はらず優秀な成績を得なかつたのは残念であつた、併し町民一体赤サビ区の参加を喜び共に終始楽しく一日を終つた事は有意義であつた

Table with 2 columns: Match number and score. Includes '二回戦 BK 28 25', '三回戦 新風 40 24', '決勝戦 新風 46 22', '第六回迄の優勝チーム'.

Table with 2 columns: Match number and score. Includes '第一回 優勝 アトミック', '第二回 アトミック', '第三回 白楊', '第四回 アトミック', '第五回 白楊', '第六回 新風'.

未だかつてない九チームの出場を得て熱戦を展開、役場チームが初の覇権を握つた一回戦
税務署 16 12 工場
高校 21 15 小学校
協和輪業 22 5 郵便局
地方事務所 18 5 農協
二回戦
役場 26 22 税務署
協和輪業 24 17 地方事務所
準決勝
役場 26 10 高校
決勝
役場 26 18 協和輪業
第四回迄の優勝チーム
第一回 優勝 巻農協

以上今年とは異色ある運動會であり最初に高校グラウンドに開催したので廣々と且つ負傷者も少く楽しく一日過ぎたのである
終了後の整理については充分お願ひしてあつたにも拘らず紙片や食物の残骸が人の居ない廣いグラウンドに落日の陽を受けて散乱しているのを見て残念であつた

Table with 2 columns: District and score. Includes '一 七一点', '二 五二点', '三 三〇点', '四 二〇点', '五 六二点', '六 二八点', '七 三一点', '八 二七点', '九 五一点', '一〇 四八点', '一一 三六點', '一二 四九點', '一三 五三點', '一四 二六點'.

Table with 2 columns: Match number and location. Includes '第二回 優勝 丸巻工場', '第三回 役場', '第四回 分團對抗'.

行事豫定
二月十五日 分團對抗籠球大會
一月一日 アマチア
一月十五日 東西對抗
二月一日 区對抗
二月十五日 クラス對抗
二月廿六日 郡連青年團
三月十六日 分團對抗

★貴方のお望みは？

私達は保育所、圖書館、グラウンド、公立公民館が欲しい併せて新制中学校も完成しなければならぬと町發展のため常に望んで居るのであります

- 南須原達夫(二區)
保育所、子供の保護及び農繁期に於ける助けと共に子供に對する親の關心を通して一般文化の高揚になると考ふる
富澤豊子(三區)
保育所
大田政司(四區)
回答なし
大田政司(四區)
回答なし
本間縫子(六區)
回答なし
小林又四郎(七區)
回答なし
高田彌雄司(十區)
保育所、保育場の階上又は一部に圖書室を設けたらどうかと思ひます
田畑正祐(十一區)
回答なし
山添美和子(十二區)
保育所
遠藤ミツ(十三區)
圖書館(室)
長沼 春(十三區)
保育所
古保 保(十區)
回答なし
佐藤米次郎(五區)
回答なし
小林治作(九區)
回答なし
小林正策(十區)
回答なし
石山欣弥(六區)
回答なし
伊藤 正(十區)
回答なし
以上

婦人會だより

敬老會を開いて

十一月二十三日勤勞感謝のよき日を選び婦人會は、公民館、みのり會と共催で敬老會を開催した
一萬二千有餘の人口を有する當町では、七十五才以上の長壽の該當者は百二十餘名であつたが病氣などの事故で當日の出席者は九十名であつた

前に出席者名を點呼しお祝のお菓子袋をお上げした
中野みのり會々長司會のもとに琵琶おどり次々と楽しいプロگرامは進み、浪曲に續いて歌が出た時には正に自他一如の三昧境に入り、歌につれて踊り出すおばあさん、掛聲を入れて力むおばあさん、時の移りも忘れ背鬨の濃くなつた五時半過ぎ和氣満々裡に閉會となつた
樂しかつた、樂しかつたと繰返し感謝し乍ら歸り仕度をするお年寄達を見送り主催者側にもおのす満足感にじみでて心をほのぼのと温める。若い時代家の爲、社會の爲に力一杯働きたりやがて静かな老境に入つた時に子に守られ、孫に圍まれての感謝の生活を送られるのは人間として大きな幸福な姿であると思はれる
主觀的な感傷はさておき老人に對する思いやりの氣分が各家庭にも滲透して行きお年寄も主人も主婦も、供も夫々の立場において責任を果して樂しい明るい家庭の建設を心に描きつ、來年も又今回の催しに反省を加えてよりよい計画のもとにこれが實施される事を望む

讀書隨想

寒い國

中谷宇吉郎著

(岩波小國民のために)

いつか小学校の子供が二三人で やつて来て病氣の名前とそれの 豫防法、看護法を聞かせてくれ と言う。社會科の勉強だと言う とうゆう病氣がと聞く病氣み んなど言う。それはたいへんだ と答えると、ではそのうちの重 い病氣だけでいい。

「科學する」とか「科學を生活 する」とかは、さうゆうただ科 學的智識の集積や、技術の向上 にだけあるのでなくて、もつと 根本的に人々の心の持ち方、向 け方を言うのではあるまいか、 さうゆう點をこの本の著者は上 手に分り易く書いて教えて下さ っている。

「少國民のために」の一冊であ るがこれは大人が讀んでもなかな 面白くまた「ためになる」 戦争中の本だし、殊に滿洲千島 のことなどが書かれていて、現 在では其の時のような、殊に私 など滿洲の東安省で讀んだので 尙更面白かつたのだが、感興は 湧かないかも知れないが、しか し書かれていたことがらよりは、 其の底に流れている本質的なも のにうたれることが多い。 敢て一讀をす、める所以です (齋藤順作)

寄贈圖書 高野俊氏より
民族日本歴史全五卷 白柳秀湖
學生によせる書 天野貞祐
フパルタ 仁田田六三郎
文化論 谷川徹三
愛弟通信 國木田獨步
ソクラテスの辨明 河合前次郎
在歐通信 奥田たけし
原子的話 高野重雄
テレビジョン ソロ 高野重雄
森の生活 片山哲
社會主義の展開 服部静夫
生活の中の植物 高見順
長河なる星の下に

短歌

西原 楨彦

この丘のホテルの窓にま向ひて国境の山や雨にけぶらう 短かかると一日の旅を國境の山近く来て心疲れし 漁火に似てをまた、く村の灯を湯煙に濡れて見たるあはれさ 夕闇は谷に深ければ温泉の宿を襲ふ霧か湯煙とまがふ ひそまりて眼開けば湯浴み處に一人の我は心おちつ、 湯あみ處のくもり今は深ければさだかに夜の更けつ、やあらむ

入庫案内

★新しく入った本

- 小島 春抄 小川 正子
春 琴抄 谷崎潤一郎
何を讀むべきか 毎日新聞社
青年讀書の實際 宮澤 三次
社會科學入門 玉城肇外三名
殘 照 阿部 次郎
青年文化運動の構想 堀内庸村
青年の教育 瀨川 良夫
城 田舎からの手紙 阿部知二
世界文學全集 ゲーテ 高橋建二
同 モーパッサン 杉連 夫
同 バルザック 水野 亮
世界名畫物語 山田 邦祐
古 寺 巡 禮 和辻 哲郎
マルクシズムに対決するもの
新しい人生について 小田切秀雄
母 南 原 繁
西洋文明小史 林 健太郎
教養についてなど 渡辺 一夫
善の 研究 西田幾太郎
人口 問題 上田 正夫
治水と利水 伊藤 本三
氣象と災害(社會科) 加藤茂數
映 画 ( ) 瓜生忠夫
國の活動 ( ) 飯本信之
文化のあけぼの( ) 關井和愛
新して映画美 津村秀夫
寺田寅彦隨筆全五卷 寺田寅彦
俳句の作り方 島田青峯
續編傳説の越後と佐渡中野城水 牧田 茂
村落社會 帆足理一郎
聖き愛の世界へ 安部能成
私の歩み 柳田國男
民俗学の話 中谷宇吉郎
科学人の道 小泉 丹
野口英世 無事の人 山本存三
女の顔 高山右近 上下巻 石坂洋次郎
イヤリング(子鹿物語)上下巻 吉樹英治
大久保康雄

編輯後記

第三號を送る。發行の一時停止した事を深く御詫申し上ます。今後皆様の力で力強、育て、ゆきたいものと思つていきます。町民の皆さんの積極的な御批判御投稿をお願致します。